

医療・健康

風疹、新型インフルエンザ、結核等への市の対応について

市長 ①医療保険という視点から市報特集号等による広報やジエネリック医薬品希望カードの配布、ジエネリック医薬品利用差額通知の送付等を行っている。

市長 ②医療助成費のうち調剤分の平成24年度の全体額は約7千8百50万円だが、ジエネリック医薬品の割合等は把握していない。

子宮頸がんの制圧を目指して積極的な取り組みを

山岸真知子議員(公明) ①子宮頸がん検診の細胞診にHPV検査を併用すべきだが見解は。

市長 ①国が平成25年度からHPV検査検証事業を実施するので、当面は国による検証の進捗を見守っていく。

石毛航太郎議員(フオ) ①ジエネリック医薬品の普及についての市の取り組みは。

②乳幼児医療費助成制度の対象となる市民のジエネリック医薬品の利用状況、及び医療費の削減効果は。

◆ジエネリック医薬品希望カード



査の実施に向けた検討状況は。市長 ①多摩26市では、東大和市と西東京市が実施している。

市長 ②各種検診の実施の効果等の判断には高い専門性を要することから、国等の動向を踏まえ、関係医療機関と導入の適否を含め検討していく。

子宮頸がんワクチン接種について

平野ひろみ議員(生ネ) ①市で把握しているワクチン接種による重篤な副作用の事例は。

市長 ①平成23年度に医療機関から2件の報告があり、症状はいずれも接種直後に失神が現れたものである。その後の対応として医療機関で経過観察を行い、いずれも重篤な症状には至らずに回復したとの報告があった。

副作用についての見解は。市長 ①法律に基づき予防接種を行う疾病として子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス感染症が新たに追加された。

市長 ②ワクチン接種後に失神する可能性を認識しており、接種対応

子ども・女性

保育園待機児童の対策はどのように進めるのか

常松大介議員(フオ) ①平成24年度並みに待機児童が発生した要因は。

市長 ①現在、認定家庭福祉員を増設に向けて募集を行っているほか、認可保育園の2園ないし3園の新規開設に向けて事業者からの提案を受け付けている。

市長 ②的確な情報提供のためには保育に関するさまざまな制度の理解が必須のため、現在は保育課窓口で対応しており、体制をいかに整えるかは今後検討する。

認定家庭福祉員の募集や認可保育園開設に向けた事業者からの提案の受け付けを開始した。

山岸真知子議員(公明) ①ピロリ菌無料検査を実施している近隣市の状況は。

市長 ①胃がん撲滅のためには、症状が出る前にピロリ菌検査を行うことが重要だが、ピロリ菌検査

立花隆一議員(公明) ①待機

象者への説明書の中にその可能性を記載し、接種後30分程度は背もたれのあるソファに座るなど様子を見るよう周知している。

子宮頸がんワクチン接種の対応について

市長 ①平成23年度に医療機関から2件の報告があり、症状はいずれも接種直後に失神が現れたものである。その後の対応として医療機関で経過観察を行い、いずれも重篤な症状には至らずに回復したとの報告があった。

市長 ②これまでと同様に、健康センターの職員が窓口や電話相談により対応していく。

子どもにも親にも豊かさを

日向美砂子議員(生ネ) ①待機児童解消のための方針は。

市長 ①平成24年度に1園、25年度に4園の認可保育園を開設したが、待機児童数の大きな減少には至らなかったため、東部地域での認定家庭福祉員の募集及び認可保育園の新設提案の受け付けを開始した。

子ども・子育て審議会が、子どもの保護者及び子ども・子育て支援に関する事業従事者等に組織されることになる。

鈴木保育園の廃園は当面見送りせよ

橋本久雄議員(虹ひ) ①今後の待機児童数の想定は。

市長 ①転入者の増加といった流動的な要素等があり今後の予測は困難だが、今年度に行うニーズ調査の結果等を踏まえながら、必要な保育サービスを提供できる基盤整備を図っていく。

双子などへの多様な子育て支援と児童館の充実を

立花隆一議員(公明) ①多胎児に対する子育て支援事業は。

市長 ②新しく開設した小川町一丁

目児童館周辺の安全対策は。市長 ①家事支援ヘルパーを派遣する事業では出生後6か月までのところ、多胎児の場合は1年まで利用できる。また、ファミリー・サポート・センター事業では兄弟など複数の子どもを同じ提供会員に預ける場合、2人目以降は半額になる。

市長 ②車道と歩道の分離化や交差点のカラー舗装等のほか、植栽を低く植えて周辺の見通しに配慮するなど安全対策を講じた。

子どもにも親にも豊かさを

日向美砂子議員(生ネ) ①待機児童解消のための方針は。

市長 ①平成24年度に1園、25年度に4園の認可保育園を開設したが、待機児童数の大きな減少には至らなかったため、東部地域での認定家庭福祉員の募集及び認可保育園の新設提案の受け付けを開始した。

子ども・子育て審議会が、子どもの保護者及び子ども・子育て支援に関する事業従事者等に組織されることになる。

鈴木保育園の廃園は当面見送りせよ

橋本久雄議員(虹ひ) ①今後の待機児童数の想定は。

市長 ①転入者の増加といった流動的な要素等があり今後の予測は困難だが、今年度に行うニーズ調査の結果等を踏まえながら、必要な保育サービスを提供できる基盤整備を図っていく。

双子などへの多様な子育て支援と児童館の充実を

立花隆一議員(公明) ①多胎児に対する子育て支援事業は。

市長 ②新しく開設した小川町一丁

市長 ①4月1日時点の待機児童数174人のうち、11人が6月開設の花小金井にこ保育園に入園している。

市長 ②教育人口推計等から平成30年の入会児童数は1千84人と推計されるが、今後、子ども・子育て支援事業計画を策定する中で把握を行いたい。体制については今後、国が定める基準等を踏まえて検討していく。

小林洋子議員(フオ) ①学童クラブに必要なサービスは何か。

市長 ①学童クラブ父母連絡会主催の意見交換会の中で継続して強く要望のあった開所時間の延長、災害時等の連絡体制の充実等が現在の学童クラブに必要なサービスと認識している。

市長 ②利用者や事業者の双方にメリットがあるが、現段階では保護者との意見交換会で利用者ニーズを把握し、それに対応していくことで改善を進めていく。

保育園待機児童対策と学童保育の今後のビジョンについて



◆新設された認可保育園(花小金井にこ保育園)

木村まゆみ議員(共産) ①6月に認可保育園が開園したが、待機児童数に変化はあったか。

市長 ②5年後、10年後の学童保育の推計と体制は。

鈴木保育園の廃園は当面見送りせよ

橋本久雄議員(虹ひ) ①今後の待機児童数の想定は。

市長 ①転入者の増加といった流動的な要素等があり今後の予測は困難だが、今年度に行うニーズ調査の結果等を踏まえながら、必要な保育サービスを提供できる基盤整備を図っていく。

双子などへの多様な子育て支援と児童館の充実を

立花隆一議員(公明) ①多胎児に対する子育て支援事業は。

市長 ②新しく開設した小川町一丁

市長 ①4月1日時点の待機児童数174人のうち、11人が6月開設の花小金井にこ保育園に入園している。

市長 ②教育人口推計等から平成30年の入会児童数は1千84人と推計されるが、今後、子ども・子育て支援事業計画を策定する中で把握を行いたい。体制については今後、国が定める基準等を踏まえて検討していく。

小林洋子議員(フオ) ①学童クラブに必要なサービスは何か。

市長 ①学童クラブ父母連絡会主催の意見交換会の中で継続して強く要望のあった開所時間の延長、災害時等の連絡体制の充実等が現在の学童クラブに必要なサービスと認識している。

市長 ②利用者や事業者の双方にメリットがあるが、現段階では保護者との意見交換会で利用者ニーズを把握し、それに対応していくことで改善を進めていく。

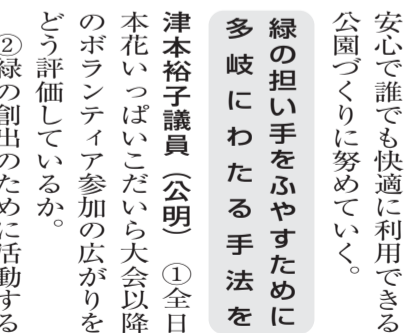
保育園待機児童対策と学童保育の今後のビジョンについて

木村まゆみ議員(共産) ①6月に認可保育園が開園したが、待機児童数に変化はあったか。

市長 ②5年後、10年後の学童保育の推計と体制は。

鈴木保育園の廃園は当面見送りせよ

橋本久雄議員(虹ひ) ①今後の待機児童数の想定は。



▶ボランティアの方が参加して植えかえをした花壇(上水公園)

七小東公園の危険箇所の改善とバリアフリー化について

市長 ①公園内のバリアフリー化についての考えは。

市長 ①園路側面の段差や遊具の基礎の露出等を確認しており、改善策を検討、実施していく。

市長 ②平成24年度に公園の出入り口やトイレなど施設のバリアフリー化に関する設置基準を条例で定めており、引き続き、安全・安心で誰でも快適に利用できる公園づくりに努めていく。

緑の担い手をふやすために多岐にわたる手法を

津本裕子議員(公明) ①全日本花いっぱいこだいら大会以降のボランティア参加の広がりをどう評価しているか。

市長 ①公共施設でのプランターの植えかえなどを多くの市民の協力を得ながら展開しており、緑と花いっぴいのまちづくりの担い手の輪は着実に広がっていると認識している。

市長 ②市民や団体にまちづくりの担い手として協力してもらう仕組みづくりについて、引き続き検討を進めていく。

今後の用水の活用計画と整備は

堀浩治議員(政和) ①用水路の今後の活用計画は。

市長 ①小平市用水路活用計画における用水路の保全または転用の活用区分に基づき、地元の人と調整し活用を図っていく。

市長 ②用水路活用計画等に基づき郷土の歴史を重視し、生物多様に配慮しながら、用水路の親水性や景観の向上など事業効果の高い場所を選定し、自然を生かした整備を行っている。

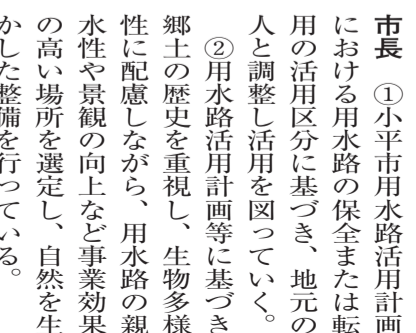
市長 ①4月1日時点の待機児童数174人のうち、11人が6月開設の花小金井にこ保育園に入園している。

市長 ②教育人口推計等から平成30年の入会児童数は1千84人と推計されるが、今後、子ども・子育て支援事業計画を策定する中で把握を行いたい。体制については今後、国が定める基準等を踏まえて検討していく。

小林洋子議員(フオ) ①学童クラブに必要なサービスは何か。

市長 ①学童クラブ父母連絡会主催の意見交換会の中で継続して強く要望のあった開所時間の延長、災害時等の連絡体制の充実等が現在の学童クラブに必要なサービスと認識している。

市長 ②利用者や事業者の双方にメリットがあるが、現段階では保護者との意見交換会で利用者ニーズを把握し、それに対応していくことで改善を進めていく。



▶ボランティアの方が参加して植えかえをした花壇(上水公園)